平成 26 年度事業報告

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日まで

一般財団法人國學院大學院友会

一般財団法人國學院大學院友会　平成26年度事業報告

平成26年4月1日　～　平成27年　3月31日

◇　概　　要　◇

平成26年6月20日に理事・監事の改選を行い、新たな執行体制となった。國學院大學の同窓会組織として、支部の活動が活発になるように、業務執行理事を中心に、理事会としても支部との交流を重ねた。又、学生支援、大学への協力、公益事業等「公益目的支出計画」に則した事業も、本部支部一体となって取り組んだ。東日本大震災被災地支援事業では、支部とともに、失われようとしていた伝統文化や伝統芸能の再興、また避難生活を余儀なくされている多くの方々を招いて雅楽のコンサート等、心の復興にも事業として行うことができた。公益事業でも全国各地で、特色ある内容で、各支部が主管となり実施することができた。

◇　事　　業　◇　　◇　実　施　事　業

◎【育成事業】

1）國學院大學学生等支援

◆「学術・スポーツ振興資金」制度による支援〔継続実施〕

① 学術部門 … 母校所蔵の貴重資料デジタル化に100,000円を支援した。

②スポーツ部門 … 硬式野球部・陸上競技部(長距離部門)・柔道部に各500,000円を支援した。

・平成26年度寄付金額等　　2,403,930円

・平成26年度3月末残高　　9,791,534円

◆「司法試験奨学金」制度による支援〔継続実施〕

→「短答式試験」合格者6名に、各50,000円を支給（給付）した。

合計　300,000円

◆教職を目指す学生の支援〔継続実施〕

→「学習指導要領」を小学校・中学校・高等学校それぞれの教員を志す学生に贈呈した。

・渋谷キャンパス→小学校学習指導要領100冊、中学校学習指導要領解説総則編100冊、高等学校学習指導要領解説総則編100冊、生徒指導提要100冊。…　計　400冊

・たまプラーザキャンパス→小学校学習指導要領解説総則編120冊、中学校学習指導要領解説総則編120冊、中学校学習指導要領解説保健体育編110冊、高等学校学習指導要領解説保健体育編110冊。…　計　460冊

→合計　860冊　　198,500円（税込）

◆「國學院大學キャリア講座」（マナー編、法律編）を開催〔継続実施〕

・内　容：母校キャリアサポート課と連携して、新たに社会人となる学生達へ、必要なマナーや労働関係法律や社会保険制度等の基礎知識等を学んでもらう講座を提供した。内容は学生、大学の要望に則し、学生への奨学奨励として実施した。

①マナー編

・講　師：村上侑美枝（正会員）氏／総合マナーコンサルタント

・日　時：平成27年1月13日（火）

①12：50～14：20　②14：30～16：00

・会　場：院友会館　地下大ホール

・聴講者：学生12名、一般2名

・受講料：無料（諸経費は本会で負担）

・共　催：國學院大學

②法律知識編

・講　師：平野恵子氏（文化放送キャリアパートナーズ研究員）

・日　時：平成 27 年 1 月 15 日（木）
①12：50～14：20　②14：30～16：00
・会　場：院友会館　地下大ホール
・聴講者：学生 23 名
・受講料：無料（諸経費は本会で負担）
・共　催：國學院大學

◆「院友会長賞」による支援〔継続実施〕
→国家公務員採用総合職試験に合格した宮崎菜摘さん（現・厚生労働省勤務）に 院友大会の席上で贈呈した。

◆球場や、競技場、試合場、応援席などに掲げる旗や幟、横断幕などの貸し出しを行った。〔継続実施〕
→「がんばれ國學院」「國學院大學」（支部総会や講演会での貸出も可）

◆大学と連携して、学生への就職支援活動を行った。〔新規実施〕
→本部や全国各支部・部会、職域会等が一体となって、Uターンや就職の支援、アドバイス、情報提供などの支援体制に向けてスタートした。
・全国支部長会議、及び支部総会でも相談を重ねた。

2）会館施設の貸与、又は経費の補助

◆公益又は育成事業に該当する学生の会館利用の際の施設の貸与、経費の補助を行った。〔継続実施〕
・施設提供支援事業費　　3,536,028 円／158 件

◆國學院大學の授業、諸講座への会館施設の貸与〔継続実施〕
→ 國學院大學渋谷キャンパス体育館の建替え工事に伴い、その工事期間中、本会館を使って一部の授業等を行うことに協力。
・木曜日／一コマ　・金曜日／二コマ　・土曜日／一コマ
・施設提供支援事業費　　1,005,480 円／71 コマ

3）全国の高校生を対象とした文化事業支援

→高校生対象の母校事業を協力支援した。

◆「第 18 回　全国高校生創作コンテスト」を協力支援した。〔継続実施〕
・主　催：國學院大學、高校生新聞社（共催）
・協　賛：本会、若木育成会
・後　援：文部科学省、全国高等学校長協会、全国高等学校国語教育研究連合会

◆「第 10 回地域の伝承文化に学ぶコンテスト」を協力支援した。〔継続実施〕
・主　催：國學院大學、高校生新聞社（共催）
・協　賛：本会、若木育成会、國學院大學北海道短期大学部
・後　援：文部科学省、農林水産省、全国高等学校校長協会、全国高等学校文化連盟

◎【講座・講演会事業】

→國學院の培ってきた学問を中心に、我国の伝統的な文化を広く社会に継承すべく、豊かな人間形成を目的とした講座や講演会等を開催した。

◆『古事記全講研究会（第 22 期）』を開催した。〔継続実施〕
・講　師：中村啓信氏（國學院大學名誉教授）
・日　時：5 月 14 日、6 月 18 日、7 月 9 日、9 月 10 日
10 月 8 日、11 月 12 日、12 月 10 日、
平成 27 年 1 月 21 日、2 月 11 日、3 月 11 日
全 10 回　毎水曜日　14：30～16：00
・会　場：院友会館 3 階 大会議室
・受講生：46 名

◆『源氏物語講座（第 8 期）』を開催した。〔継続実施〕
～「玉鬘（たまかずら）」の巻（後半）と「初音（はつね）」の巻を読む～
・講　師：針本正行氏（國學院大學副学長・文学部教授・本会副会長）

・日　時：4月 14日、5月12日、6月9日、7月7日、8月4日
10月 20日、11月10日、12月 8日、平成27年 1月19日、
3月9日　全10回　毎月曜日　13：30～15：00
・会　場：院友会館 3階 大会議室
・受講生：14名

◆院友学術振興会公開講座『國學院の古典』(第18回)を開催した。
〔継続実施〕
→協力団体との共催事業として開催した。案内や広報活動、チラシ作成、資料準備、会場設営、受付、などを本会が受け持った。
・内　容：國學院大學で学位を得た先生方の会で、協力団体でもある院友学術振興会との共催講座。古事記・万葉集・源氏物語・中国文学・国語学・神道学など、國學院が培ってきた学問を基に、多彩な分野から講義を行った。
・日　時：平成27年1月13日（火）～17日（土）の5日間。
①13：00～14：30　②14：50～16：20
・会　場：院友会館　3階　大会議室
・定　員：各70名　一般公開
・後　援：渋谷区・渋谷区教育委員会・國學院大學

平成27年1月13日	①古事記	山崎かおり氏	73名
	②源氏物語	秋澤　亙氏	77名
14日	①万葉集	城崎　陽子氏	92名
	②古事記	菅野　雅雄氏	97名
15日	①中国文学	松田　稔氏	56名
	②万葉集	近藤　信義氏	61名
16日	①国語学	浅川　哲也氏	66名
	②源氏物語	林田　孝和氏	69名
17日	①神道学	中道　豪一氏	71名
	②源氏物語	針本　正行氏	75名

◆生活芸術講座を開催した。〔継続実施〕
・一般社団法人儀礼文化学会との共催講座。
→儀礼文化において、生活を基盤とし伝統的特色を有する分野を「生活芸術」と位置付ける。その文化的芸術的価値として「美」を考えていく講座。
・内　容：「香道　練香を学ぶ」
・講　師：㈱松栄堂　代表取締役社長　畑　正高　氏
・日　時：平成27年1月25日（日）　14：00～16：00
・会　場：院友会館　3階　大会議室
・受講生：50名　（本会15名、儀礼35名）

◆國學院大學・國學院大學院友会連携講座〔継続実施〕
『万葉集　－皇后像の形成とその意義－』
・講　師　城崎陽子氏（國學院大學兼任講師・博士〔文学〕）
・日　時　平成27年2月28日（土）　13:00　～　14:30
・会　場　院友会館　地下大ホール
・来場者　69名　無料・一般公開

◆《平成26年度院友大会》一般公開講演会を開催した。〔継続実施〕
・講　師：上野　誠氏（92文・94博士前期日本文学・98博士後期日本文学／奈良大学文学部教授・国際日本文化研究センター客員教授）
・演　題：『万葉びととの対話』－グローバル化のなかで－
・日　時：平成26年5月24日（土）17:00～18:00
・会　場：グランドプリンスホテル新高輪「飛天」

・入場料：無料　　一般公開
・聴講者　507 名

◆東日本大震災被災地支援事業を行った。　〔継続実施〕

→ 被災地域における伝統文化や伝統芸能の再興や心の復興のため、支部が主管する事業支援を行った。

※各支部の事業実施や諸活動の中では、特に被災地の方々をお招きし、また地域の次世代を担う若人への参加を呼び掛け、一般公開として行った。

→宮城県支部（承認は平成 25 年度）東日本大震災復興記念事業

『悠久の雅　雅楽へのいざない』－雅楽のこころ　音楽のちから－

・講　師　　東儀秀樹氏（雅楽師／國學院大學客員教授）
・日　時　　平成 26 年 5 月 31 日（土）14:00～
・会　場　　日立システムズホール仙台・シアターホール
・来場者　　552 名（一般公開　無料）

→福島県浜通り支部

『元気になろう!!　浜通りの民俗芸能』

・参加団体　福田の十二神楽保存会
　　高田の神楽保存会
　　請戸芸能保存会
　　福島県立いわき海星高校
　　「じゃんがら念仏踊りチーム」
　　民俗芸能学会福島調査団
・日　時　　平成 26 年 12 月 23 日（火/天皇誕生日）
　　13:00　～　16：00
・会　場　　新地町農村環境改善センター大集会室
・来場者　　220 名（一般公開　無料）

◆「公益事業実施規程」により、統一テーマ【もっと日本を学ぶ】に基づき、支部とともに地域で、公益的な講演会やさまざまな事業を行った。

〔継続実施〕　何れも一般公開・無料

→熊本県支部文化講演会

第一部　『スポーツの魅力』

・講　師　　一　正孝氏（國學院大學人間開発学部教授）

第二部　『伝統芸能のゆくえ』

・講　師　　岩下尚史氏（作家）
・日　時　　平成 26 年 5 月 10 日（土）　17:00　～　18:30
・会　場　　鶴屋百貨店　東館 7 階　鶴屋ホール（熊本市）
・来場者　　226 名

→福島県中通り支部文化講演会

『障害者教育の立場から見た障害者権利条約』

・講　師　　柴田保之氏（國學院大學人間開発学部教授）
・日　時　　平成 26 年 5 月 10 日（土）　15:00　～　16:00
・会　場　　郡山ビューホテルアネックス（熊本市）
・来場者　　60 名

→神奈川県支部文化講演会

『御蔭年と伊勢参詣』

・講　師　　中西正幸氏（國學院大學神道文化学部教授）
・日　時　　平成 26 年 6 月 22 日（日）　15:30　～　17:00
・会　場　　鶴岡八幡宮　直会殿
・来場者　　96 名

→静岡県西部支部文化講演会

『指導者生活 17 年　～成功と失敗の舞台裏～』
・講　師　　鳥山泰孝氏（國學院大學硬式野球部監督）
・日　時　　平成 26 年 6 月 28 日（土）　16:00　～　17:30
・会　場　　グランドホテル浜松「孔雀の間」
・来場者　　40 名

→鳥取県支部文化講演会
『郷土の民話を語りつなごう』　～さじ谷ばなし～
・講　師　　さじ民話会
・日　時　　平成 26 年 8 月 30 日（土）　13:00　～　14:00
・会　場　　鳥取ワシントンプラザ
・来場者　　56 名

◆サロン・コンサートを開催〔継続実施〕　一般公開／無料
・豊かな人間形成を目的とした事業の一環で、学生のみならず地域社会への貢献を目的としてコンサートを実施した。入場無料。

第 10 回　サロン・コンサート
フラメンココンサート　～情熱のフラメンコ～
・カンテ（歌）須田隆久　／ギター　斉藤元紀
ダンサー　　遠藤太麻子　　茂木直美
・日　時　　平成 26 年 7 月 12 日（土）　14:30　～　16:00
・会　場　　院友会館　1 階ロビー
・来場者　　121 名

第 11 回　サロン・コンサート
ゴスペル　～ with christmas ～
・ﾞｫｰｶﾙ　　ＳＡＫ／Kayo／高橋あず美／植松陽介　（4 名）
・日　時　　平成 26 年 12 月 6 日（土）　14:30　～　16:00
・会　場　　院友会館　1 階ロビー
・来場者　　84 名

第 12 回　サロン・コンサート
日本の名曲　～四季を感じる懐かしのメロディ～
・テノール　飯田康弘／安保弘介
バリトン　野村真土　　ソプラノ　渡邉絵美子／土田彩花
ピアノ　　小林　麗
・日　時　　平成 27 年 3 月 7 日（土）　14:30　～　16:15
・会　場　　院友会館　1 階ロビー
・来場者　　95 名

→ 年 3 回実施。クラシック、ジャズ、タンゴなどジャンルを問わず、幅広いコンサートを実施した。

◆國學院大學で実施する講座・講演会等への支援協力を行った。
・平成 26 年 9 月 15 日（月）14:30～19:00
「富士の山と信仰をピアノに聴く」　演奏　西村元希氏
・会　場　院友会館　1 階ロビー／控室　2 階小会議室
・来場者　50 名
主催：國學院大學博物館・協力：山種美術館
／「平成 26 年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」として、大学と山種美術館の共同事業へ協力した。

◎【会館施設提供事業】

◆地域社会の健全な発展を目的とする会館利用への施設の提供、又は経費の補助を実施した。〔継続実施〕
→ 地域活動の活性化など、社会貢献を根底に、近隣・学校等を対象とするもの。

・補助金額　511,005円／25件

◎【特定寄付】

◇國學院大學への協力

◆東日本大震災支援関係〔継続実施〕
被災在学生の支援として、國學院大學で進めている支援制度への指定寄付を行った。 … 5,000,000円

◆國學院大學が進めている学生等への支援事業、その他全国の高校生対象の文化事業への寄付を行った。 … 800,000円〔継続実施〕

◎【同窓会事業】

1）会報発行発送事業

■院友会報の発行

◆「院友会報」の編集発行…第357号から359号を発行した。〔継続実施〕

「357号」… 暑中見舞号／8月1日付、8月上旬発送。
・会報作製　16面／89,300部
・会報発送　83,851件
・支部経由　茨城県支部　3,124件

「358号」… 新年号／平成27年1月1日付、12月中旬発送。
・会報作製　16面／88,650部
・会報発送　86,238件

＊358号作製後、会報発行費用の見直しを実施。（費用減）

「359号」… 新院友歓迎号／3月22日付、卒業式に配付、3月下旬発送。
・会報作製　16面／93,600部
・会報発送　82,791件
・支部経由　茨城県支部　3,083件

■会員へのサービス

◆会報を使った「ビジネスサポート」による同封サービスの実施。〔継続実施〕
→ ・357号同封。　（@3,24円×部数）
…東京都二十三区支部　16,051部（東京23区内）
→ ・359号同封。
…長野県支部　1,922部（長野県下）

◆同期会、クラス会等の開催支援を行った。開催においては、キャンパス見学会を希望により実施した。

◆各支部、職域・地区部会、協力団体等の総会等開催支援を行った。

◆夫々会合の開催については、個人情報保護法を遵守しながら、名簿の出力などについて、大学への仲介を行った。

◆電報サービスの実施〔継続実施〕
→ 結婚6件、叙勲・褒章・褒賞・当選等、慶事54件の祝電を贈った。

2）会員統括組織化事業

■支部長会議の開催

◆《支部長会議：通算第34回》の開催〔継続実施〕
・日　時：平成26年5月24日（土／院友大会と同日）13:30～16:15
・会　場：グランドプリンスホテル新高輪
・備　考：支部長と事務局代表者、計2名を全国各支部から招聘
＊一般財団法人への移行後、特に具体的事務・会計処理など、諸活動に支障をきたさないように、説明や意見交換を行った。
＊各支部での公益目的事業実施についてや、学生支援、就職支援のための具体的な意見交換を行った。
＊ホームカミングデーへの幅広い参加と協力を促した。
・59支部参加。4協力団体参加。110名。

■院友大会の開催

◆《平成26年度　院友大会》を開催した。　〔継続実施〕
・日　時：平成26年5月24日（土）

一般公開講演会　17:00 ～ 18:00／大　会　18:00 ～ 20:00
・会　場：グランドプリンスホテル新高輪「飛天」
・会　費：10,000 円／ただし、第 122 期生（新院友）～第 120 期生までは 3,000 円
・家族割引　1 人目 5,000 円 2 人目から 1 人につき 3,000 円
・学生諸団体の活動を紹介する場としても実施した。
・462 名　参加。

■新年院友交歓会の開催　◆《新年院友交歓会》を開催した。　〔継続実施〕
・日　時：平成 27 年 1 月 24 日（土）17：00～19：00
・会　場：院友会館地下大ホール
・会　費：6,000 円／同伴ご家族無料
・出席者：157 名
＊学術・スポーツ振興資金支援三団体の監督や選手を招き、激励と交流を行った。
また参加者全員参加で新年大福引大会を実施した。

■ホームページの運営　◆本会公式ホームページの活用 → http://www.kokugakuin.or.jp
〔継続実施〕
→ リニューアルを実施し、パソコン対応だけでなく、スマートフォンにもスムーズな対応ができるようにした。
情報セキュリティには万全を期し、データの暗号化対応を実施した。
・平成 26 年 10 月 1 日からオープンした。

■院友会員のデータ管理　◆大学と連携して、卒業生の住所調査、メンテナンスを行った。
〔継続実施〕
◆個人情報保護法・本会の個人情報に関する取り扱い諸規程を遵守した対応を行った。〔継続実施〕

■各支部総会等への出席　◆全国各支部総会等の会合へ本部から参加し、情報交換や交流、法人移行での事務的な説明、学生支援について等、交流を図った。
→支部総会、地区部会、職域、協力団体や院友神職会など 80 の会合・懇親会、公益事業へ出席した。

3）同窓会共通事業

■「院友会長賞」の贈呈　◆学術、スポーツ、社会貢献などの各分野において、母校の名声を高めた顕著な活動を称えた。〔継続実施〕　…　院友の部
・岡野弘彦（56 学部）氏へ贈呈。
→歌人としてはもとより、芸術選奨文部科学大臣賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、文化功労者に選ばれる等の業績と、これまでのご努力、研鑽を称えて贈呈した。
→贈呈式は平成 26 年度 院友大会席上で行った。

■新卒業生の支援　◆新卒業生への記念品贈呈〔継続実施〕
→ 母校・若木育成会・本会の三者共催で卒業記念品(学報縮刷版)を作製し、支援した。

■大学への協力　◆「院友子弟等特別選考入学試験制度」の宣伝・広報等を行った。
（会報、ホームページ、支部総会などで）　〔継続実施〕
◆大学ホームカミングデー（10 月 18 日（土・渋谷ｷｬﾝﾊﾟｽ）、19 日（日・たまﾌﾟﾗｰｻﾞ ｷｬﾝﾊﾟｽ）へ協力した。〔継続実施〕
→会報、ホームページなどで院友の参加促進を図った。
→支部物産展開催を支援した。今年度は 8 支部が出店した。
・北海道道南支部、青森県支部、岩手県支部、埼玉県北支部、千葉県支部、長野県支部、鳥取県支部、沖縄県支部

■院友の図書　整理分類他　◆大学図書館や図書館学司書ゼミの学生等の協力を得ながら、院友の寄贈図書、本会蔵書の整理分類を開始し、基本台帳となるものを作成した。

〔継続実施〕

■協力団体との連携　◆協力団体「院友学術振興会」との連携支援を通して、学術事業を行った。
〔継続実施〕

■会費納入促進について　◆会報発送時に、会費納入者・未納者ごとに依頼状を同封した。

・会費、寄附金等納入状況

：年度会費、十年会費（一般会員及び代理徴収分）
62,785,000 円

：入会金　27,770,000 円　（代理徴収分）

：維持寄付金　3,218,280 円

：基本財産寄付金　40,000 円

◆会費等について、協力を呼びかけた。

・平成 26 年度支部取り纏め納入…　北海道道東、北海道道南、岩手県、宮城県、山形県、福島県中通り、茨城県、埼玉県西、東京都南多摩、新潟県、福井県、山梨県、静岡県東部、静岡県中部、滋賀県、大阪府、奈良県の 17 支部。

・神社…寒川神社、鶴岡八幡宮。

◎【収益事業】　◆近隣企業、学内、及び地域に対して会館利用促進を図った。〔継続実施〕

・会館事業収益合計　38,537,334 円
（参考：平成 25 年度　35,337,901 円）

◆大学実施の「神職養成講習会」研修参加者の利用に対応した。〔継続実施〕

→第 131 回の講習会では、参加者のうち 36 名の利用に対応した。

→第 132 回の講習会では、参加者のうち 32 名の利用に対応した。

◎【法人事業】

■評議員会の開催　◆定款に基づき、定時評議員会を開催した。

・第 3 回定時評議員会　平成 26 年 6 月 20 日（金）　13：01～14：10
出席評議員　21 名（30 名中）

■理事会の開催　◆定款に基づき、理事会を開催した。

・第 8 回理事会　平成 26 年　5 月 15 日（木）　13：00～14：38
出席理事　19 名（26 名中）／出席監事 3 名（3 名中）

・第 9 回理事会　平成 26 年　6 月 20 日（金）　14：18～15：02
出席理事　20 名（26 名中）／出席監事 3 名（3 名中）

・第 10 回理事会　平成 26 年 12 月 19 日（金）　14：03～15：13
出席理事　19 名（26 名中）／出席監事 3 名（3 名中）

・第 11 回理事会　平成 27 年　3 月 28 日（土）　15：00～16：41
出席理事　17 名（26 名中）／出席監事 2 名（3 名中）

■業務執行理事連絡会議の開催　◆諸事業の実施等に向けて、業務執行理事が連絡会議を、院友会館において、開催した。

・平成 26 年　5 月 9 日（金）14:00 から。

・平成 26 年 12 月　2 日（火）14:30 から。

・平成 27 年　3 月 16 日（月）14:00 から。

■顧問・参与との意見交換会を開催　◆「顧問・参与意見交換会」（通算第 17 回）を院友会館において開催した。
〔継続実施〕

・日　時　平成 26 年 12 月 2 日（火）12：30～14：30

・出席者　顧問　3 名、参与 4 名

◎【その他　共通事項】

■設備の補修・改修〔継続実施〕　平成 26 年度は、竣功 27 年目。（平成 20 年 12 月に一部改修実施。）

→ 来館者の安全や会館維持運営に必要な工事等を行った。

◆中長期修繕計画などを参考に、会館の修理・補修を実施した。

→「地中線用負荷開閉器」設置／入口自動ドア改修工事／雑排水槽ﾁｬｯｷ弁交換工事

／排水管一部改修工事　など。

■危機管理など

◆防災計画などを基に、日常での防災管理の徹底と、防災訓練を実施。

→防火防災、消火訓練、避難訓練の実施。

→ 専任職員･臨時職員(アルバイト)や関係者の意識高揚と徹底を図るため、訓練用消火器の使用等、防火・防災・避難訓練を行った。

・平成 26 年　4 月 30 日（水）　・平成 26 年　6 月 12 日（木）
・平成 26 年　6 月 17 日（火）　・平成 26 年　9 月　1 日（月）
・平成 26 年　9 月　4 日（木）　・平成 27 年　1 月 21 日（水）

◆衛生管理にも常に注意をはらった。

→ 専任職員・臨時職員(アルバイト)や関係者の日常の意識高揚と発生時対応の徹底を図った。（インフルエンザ、ノロウイルス、食中毒等）

以　上

附属明細書

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成致しません。

一般財団法人國學院大學院友会

以上